



42 こかい 鼓海



- 場所／島しょ部
- アクセス／
 - JR山陽本線徳山駅からすぐ

瀬戸内海国立公園は、静かな海面と点在する島々、独特の親しみ深い景観として、昭和9年にわが国最初の国立公園に指定されました。

穏やかな鼓海には、仙島、黒髪島、大津島、糸島などが浮かび、多くの人々を魅了しています。

瀬戸内海一帯は、古くから人と自然とが共存してきた地域で、島の段々畑や古い港町の家なみなどが自然の中に溶け込んでいます。

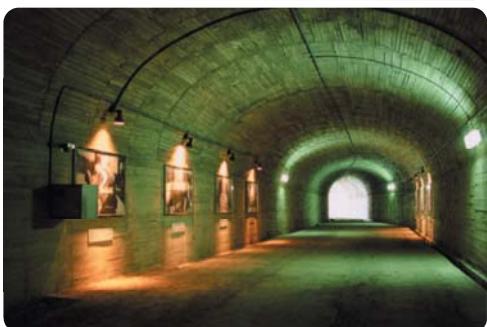
43

かいてんくんれんきちあと
回天訓練基地跡

島しょ部地域

MAP

8-B



■場所／馬島

■アクセス／

・徳山港から大津島巡航で
約35分「馬島」下船、徒歩で約10分

回天訓練基地跡は、現存する唯一の人間魚雷「回天」の基地で、平成18年に土木学会中国支部から土木遺産として認定されました。

回天記念館では、遺品や資料の展示を中心に、その歴史や当時の生活などをパネル展示で紹介しています。

近くの**砲台山**からは、美しい瀬戸内海の眺望が見渡すことができます。

44

うましま おおづしま
馬島・大津島漁港

島しょ部地域

MAP
8-B

■場所／馬島

■アクセス／

- ・徳山港から大津島巡航で約35分
「馬島」下船

大津島は、徳山港の沖合い10数kmのところにあり、約400年前、二つの島がつながってできたといわれています。

馬島・大津島漁港は、家々が島の斜面に密集していて、瀬戸内海の島ならではの景観を見ることができます。

ふぐ漁の盛んな地としても知られ、島内には、大津島八十八ヶ所遍路の石仏が安置されています。

島しょ部地域

45

かりおかいすいよくじょう
刈尾海水浴場

MAP
7-B

■場所／刈尾

■アクセス／

- ・徳山港から大津島巡航で約25分
「刈尾」下船、徒歩で約5分

刈尾海水浴場は、大津島のほぼ中央にあり、美しい砂浜がきれいな弧を描いています。

砂浜から沖合に視線を移せば、瀬戸内海や黒髪島、樺島などの島しょ美を、市街地に視線を移せば、周南コンビナート、周南大橋、若山、四熊ヶ岳、太華山などを眺めることができます。

46

まち・集落景観

石切り場

MAP

7-B



■場所／刈尾

■アクセス／

- ・徳山港から大津島巡航で約25分
「刈尾」下船、徒歩で約10分

[黒髪島](#)で採石される御影石は、「[徳山みかげ](#)」と呼ばれ、明治当初から採石されています。大正6年の国会議事堂の建設の際にも使用されています。

元和6年(1620年)から10年間、徳川幕府が外様大名に大坂城を修築させたうち、本丸と天守台の工事には毛利家が関わり、[大津島](#)から98個の石を運ぶ予定でした。島にある[大坂城石垣残石](#)には、毛利家の家紋を省略した印が残っています。

47

文化的景観

大津島公園

MAP

8-B



■場所／馬島

■アクセス／

- ・徳山港から大津島巡航で約35分
「馬島」下船、徒歩で約5分

[大津島公園](#)は、[回天訓練基地跡](#)の近くにあります。公園の近くには、宿泊施設もあり、多くのレジャー客で賑わいます。

公園から約20分程度の場所に、[モニュメント「未来の風」](#)があり、そこからは[徳山湾](#)が一望でき、瀬戸内海の島しょ美や[コンビナート](#)を望むことができます。

48

海浜・島しょ景観

ガマの群生

MAP
7-B

■場所／近江

■アクセス／

- ・徳山港から大津島巡航で約20分
「瀬戸浜」下船、徒歩で約10分

近江港から10分ほど歩いた所に、因幡の白兎の昔話にも登場する**ガマの群生**を見ることができます。毛利藩の統治時代に干拓された水田跡の湿原に群生し、9月上旬には黄金色の穂を出して美しい景観を形成します。

地域のみなさんによって大切に手入れをされ、湿原の中を通る小さな敷石の遊歩道を進むと尾瀬の雰囲気に似たその美しい眺めを楽しむことができます。

寛延元年(1748年)大津島沖で博多湾内の能古島の御用船の乗組員が遭難し、漂着した10人の遺体を手厚く葬ったのが**十人墓**で、毎年七夕の日に供養祭が行われています。

49

文化的景観

貴船祭

MAP
8-C

■場所／糸島

■アクセス／

- ・JR山陽本線櫛ヶ浜駅からバスで約30分
「糸島」バス停下車
- ・山陽自動車道山東ICから約20分

海を渡る神輿として全国的に有名な**貴船祭**は、約300年前に海上安全と大漁を祈願して行われたことを起源として伝えられています。

身を清めた白装束に鉢巻き姿の若者が、神輿を担いで勢いよく海に入り、**貴船神社**と御旅所までの約500mを往復します。

50

すくもじま
糸島

ふぐの延縄漁発祥の地として知られる糸島は、大島半島に接する周囲約2kmの小さな島です。

糸島の集落は懐かしい漁村を感じさせる集落で、赤レンガの埠や家屋を随所に見ることができます。

明治時代、北洋漁業の先駆者として財を築き、故郷の糸島の発展に貢献した石丸好助の銅像が貴船神社の前に建っています。

MAP

8-C

50



■場所／糸島

■アクセス／

- JR山陽本線櫛ヶ浜駅からバスで約30分
「糸島」バス停下車
- 山陽自動車道徳山東ICから約20分

MAP

8-C

51

大島の煙突



■場所／大島

■アクセス／

- JR山陽本線櫛ヶ浜駅からバスで約30分
「打上」バス停下車
- 山陽自動車道徳山東ICから約20分

大島の煙突は、大正5年、日本金属株式会社徳山精錬所が建設した赤レンガ製の煙突で、高さは72m、使われているレンガの数は100万個を数えます。

東洋一と言われた煙突も、建設から長い年月が経過しましたが、現在では海上航路の標識として、その勇姿を残しています。

南西の沖合には**岩島灯台**を見ることができます、大島の煙突とともに地域のシンボルとして親しまれています。